

経営理念

一、丸二物産は、

社員とその家族の安定した幸せな生活を実現し、

物心共に活力に満ちあふれた

皆が集う大切な場所になることを目指します。

二、そのために、

同志である社員が一丸となり、努力精進し、

成長します。

三、そして、

お客様が喜ぶ商品・サービスの提供を通じて、

社会に貢献し続けます。

経営方針

●信頼に値すること

- ・自分自身や人との約束に対して誠実であること。
- ・報・連・相を必ず行う。仕事ができても報連相がない人は信頼されない。
- ・正直な仕事をする。失敗、ミスは誰にでもあるもの、嘘をつかず誠実に対応するのが最高の解決策であり、成長への第一歩。
- ・整理整頓清掃をし、清潔であること。これは人としての基礎力・学びを高める土台。
- ・即対応。(タスクを溜めない。忘れない。すぐできないときは、やる日時を決める。)
- ・挨拶、笑顔、言葉づかいの基本が出来ていること。

●顧客に焦点をあわせること

- ・「事業とは顧客の創造である」ということを、常に意識すること。そのために、
- ・お客様の声を聴くこと (聞くではなく、耳と目と心でしっかり聴く)。そして、
- ・お客様のお役に立つ商品・サービスを提供し、改善し、開発し続けること。

●お互いに尊敬しあうこと

- ・挨拶と「ありがとう」。小さなことでも感謝を伝えること。
- ・謙虚に素直に他に学ぶこと。
どんなに頭のいい人でも、謙虚な人にはかなわないと、考えます。

●勝つこと (WIN,WIN であること)

- ・全従業員の「物心両面の幸福」を追求すること
- ・ビジネスモデルが高収益高賃金であること
- ・お客様に選ばれ、喜ばれ続けること
- ・一人ではなく、チームで勝つこと
- ・事業(会社)を継続し続けること
- ・競合と争うのではなく、協合し、共存し続ける。

未来像（ビジョン）

社員の未来像

- ・社員とその家族の生活の安定と物心両面の幸福を追求する
- ・同地域、同業他社の10%高の給与を目指す。（近い将来、平均年収600万を目指す）
- ・年収1,000万以上の社員を一人でも多く輩出させる。
- ・定年後も再雇用を通じて、働く喜び、人から必要とされる喜びを感じられる会社でいる。

組織の未来像

- ・誠実、信頼、熱意が当たり前の良い会社になる。
- ・整理整頓清掃が当たり前の良い会社になる。
- ・高速PDCAが当たり前（企業文化）になり、たくさんチャレンジし、
たくさんの失敗から学び、成長し、多くの経験値を持つ良い会社になる。
- ・自分の身内や友人が丸二物産で丸二物産の人たちと働きたい想われる会社になる。

事業の未来像

- ・融雪機の「大雪」というブランド力、既存顧客との高い信頼関係を土台に新たな商品・サービスを展開し、現状維持ではなく、再発展させる。
- ・48.6パイプハウスの認知を広げ、北海道シェア70%以上の圧倒的NO.1の地位を確立。さらに派生事業へと展開している。
- ・スポーツ施設を複数運営し、収益化。施設運営を通じ、子どもや地域に貢献する。
- ・高粗利継続循環型の新事業を立ち上げ、高収益高賃金のビジネスモデルを確立する。
- ・来るべきチャンスを掴みとる。そのための準備ができている。
- ・それは毎日の0.1%の改善の積み重ねによるものだと、認識し行動している。